



東明

□令和2年9月1日発行

□男鹿市立男鹿東中学校

男鹿市船越字根木169番地

～ 僕らの希望を具現する前期後半へ ～

校長 木村守人

夏休み明け全校放送集会より(校長挨拶)

特別の事情により、例年より一週間短い夏休みとなりましたが、8月に入ってすぐ全校三者面談が実施されるとともに、3年生は高等学校の体験入学に意欲的に参加しました。一時期は猛暑でしたが、お盆明けの朝夕には実り豊かな日本海と八郎湖、秀峰寒風山にも少し涼しい風が吹き始めました。

本日は前期後半スタートの全校放送集会となります。夏休み前の集会では、前期前半の学習状況、運動会や地区総合体育大会などを含めた、皆さんの活躍を最大限に評価するとともに、夏休みの23日間が有意義で、充実した時間になることを祈りました。特に、男鹿潟上南秋吹奏楽部員による演奏会の成功を願いました。予定どおり8月9日、男鹿市民文化会館で演奏された楽曲「コタンの雪」は、すばらしい表現力で観客を魅了し、男鹿市民に元氣と勇氣と感動を与えました。心からお祝いいたします。また、この夏休み中は学校にとっても、保護者や地域にとっても最も大事な皆さんの命が守られ、休み明け元気に登校できたことが何より喜ばしいことです。わずか23日間ではありましたが、心身ともに本当にたくましくなると実感します。

さて、3年生は高等学校の体験入学に積極的に参加しました。自らの夢を叶えるために、自身の適性を見極めようとする姿が数多く見られました。最上級生としての自覚が随所に表れていたと思います。学習に向かう真剣さや自らの進路を切り拓こうとする懸命な姿は、2年生、1年生にも直に見てほしいと強く思いました。例年であれば、学習相談や地域での福祉体験学習などで忙しい毎日でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止としたため、その分じっくりと受験学習に専念できたのではないのでしょうか。これまでの定期テストや実力テストの成績を見ると順調に伸びています。今後も全校生徒の模範であってほしいと強く願っています。

一方、2年生の運動部員は、東中の新たなリーダーとして新人戦に向けて直向きに練習に打ち込むとともに、文化部員は、東中祭の準備に熱心に取り組みました。これからは、様々な活動の中心が徐々に3年生から2年生へと移行してきます。やがて東中の大黒柱となるべく、心身の準備を怠らぬよう一層努力を積み重ねてほしいと思います。

1年生も同様に、部活動の練習、花壇の整備、校内外の清掃などを立派に果たしてうれしい限りです。入学して初めての地域に貢献する活動は、残念ながら中止となりましたが、皆さんの強い思いや願いは変わりありません。保護者や地域の皆さんもよく理解しています。「ボランティア活動などを制限されていても、生徒が健康で無事であればそれが何よりです。」「東中生の活躍が一番楽しみです。」など労いの言葉をいただきました。

このように夏休み中も、全校生徒が「夢に向かって笑顔で挑戦」している姿を直接見ることができて、心からうれしい気持ちと誇らしい気持ちになりました。

この後は、3年生には東中祭を成功に導く責任があります。志望校に合格するためには、自らの夢を具現しようとする強い意志が必要不可欠となります。そして2年生、1年生には、3年生を支えつつ、学校行事をより活性化するフォローワーであることが求められます。新人戦においては、優勝を目指して全力を尽くす責務があります。

生徒会テーマ「善進全励—一人一人が主役となり輝き、活躍できる東中を目指して—」、東中祭テーマ「STAR—彼方(そら)を照らす僕らの希望(ひかり)」を胸に、チーム東中として全校生徒が一丸となって難局を乗り越え、掲げた目標を見事に具現する前期後半にすることを期待して挨拶とします。

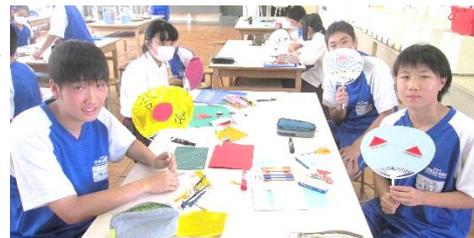
生徒会長からの熱いメッセージ—東中祭—

今後の東中祭について、生徒会長の秋山拓真さんから熱いメッセージがありました。全校放送集会の全文をご紹介します。

生徒会執行部では、夏休み前に東中祭テーマ案を募集し、多くのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。新型コロナウイルスへの対応ということで、私たちの日常生活が変わり、世の中全体が暗く、重苦しい雰囲気に覆われてしまいました。先が見通せない状況です。それでも、私たちの中学校生活は続いています。前を向いて頑張るためには、希望が必要です。

東中祭で「今、私たちにできることを行うことで、夜空に輝く星のように、私たちの未来に希望の光を輝かせたい」という思いを込めて、2020年の東中祭テーマを「STAR—彼方(そら)を照らす僕らの希望(ひかり)—」に決定しました。皆さん、大きな拍手をお願いします。

そして、例年は9月上旬に行っていた東中祭ですが、今年は10月9日(金)、男鹿市民文化会館大ホールを会場に行います。出店などの催し物は行わず、合唱コンクールと吹奏楽演奏などのステージ発表をメインに行います。したがって、例年のような部門ごとに分かれての一人一役の活動はありません。また、保護者や地域の方々の参観はありません。



【技術・家庭科でうちわを完成させ涼しい顔の3年生】

これ以外の詳細については、決まり次第、皆さんにお知らせします。私たち一人一人が“STAR”となって輝く東中祭を創り上げていきましょう。